



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社L Aホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2986 URL https://www.lahd.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇田 栄一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 栗原 一成 TEL 03-5405-7350  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	8,081	—	236	—	155	—	76	—
2019年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 54百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	14.53	14.19
2019年12月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2020年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期前期実績はありません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	24,950	4,364	17.2
2019年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 4,298百万円 2019年12月期 ー百万円

(注) 当社は、2020年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2020年12月期の配当予想については、配当額は未定であります。これまでの配当政策を基本方針としつつ、今後の中期経営計画の進捗に応じた利益還元を図るため、親会社株主に帰属する当期純利益をベースとした配当性向「20%以上30%」を目標とする方針であります。

3. 当社は、2020年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び当第2四半期までの実績はありません。

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	7.1	1,620	△29.0	1,300	△36.1	900	△34.7	170.62

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2020年7月1日に単独株式移転により設立されたため、対前期増減率については株式会社ラ・アトレの前期実績との比較となっております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	5,274,919株	2019年12月期	－株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	－株	2019年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	5,274,919株	2019年12月期3Q	－株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（その他特記事項）

1. 当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった株式会社ラ・アトレの四半期連結財務諸表を引き継いで作成しております。
2. 当四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）は、当社設立後最初の四半期連結会計期間ですが、「第3四半期連結会計期間」として記載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2020年7月1日に単独株式移転の方法により株式会社ラ・アトレの完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同四半期と比較を行っている項目につきましては、株式会社ラ・アトレの2019年12月期第3四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年9月30日まで）との比較、また、前連結会計年度末と比較を行っている項目につきましては、株式会社ラ・アトレの2019年12月期連結会計年度末（2019年12月31日）との比較を行っております。

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高8,081百万円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益236百万円（前年同四半期比78.5%減）、経常利益155百万円（前年同四半期比82.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益76百万円（前年同四半期比87.7%減）となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

## セグメント別売上高の概況

セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	構成比	前年同 四半期比
	千円	千円	%	%
不動産販売事業	7,463,854	7,512,462	93.0	0.7
（新築不動産販売部門）	(3,566,626)	(5,682,039)	70.3	59.3
（再生不動産販売部門）	(3,897,227)	(1,830,422)	22.7	△53.0
不動産管理事業部門	344,564	510,778	6.3	48.2
その他	16,602	58,570	0.7	252.8
合計	7,825,022	8,081,810	100.0	3.3

(注) セグメント間の内部売上は除いております。

## ① 新築不動産販売部門

当第3四半期連結累計期間の新築不動産販売部門の売上高は、工業団地開発「ラ・アトレ古賀インダストリー」、都市型商業ビル開発「A\*G神宮前2」、高級賃貸レジデンス「THE DOORS」などの引渡しが完了したことなどにより売上高5,682百万円（前年同四半期比59.3%増）、セグメント利益437百万円（同54.9%減）となりました。

## ② 再生不動産販売部門

当第3四半期連結累計期間の再生不動産販売部門の売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、販売戸数が減少したことなどにより売上高1,830百万円（同53.0%減）、セグメント利益7百万円（同97.9%減）となりました。

## ③ 不動産管理事業部門

当第3四半期連結累計期間の不動産管理事業部門の売上高は、オフィスビル「LA HAKATA」の稼働、長期滞在型ホテル「LAホテル福岡2」及び「LAホテル福岡3」の賃貸開始などにより売上高510百万円（同48.2%増）、セグメント利益は208百万円（同7.7%増）となりました。

(注) セグメント利益とは、各セグメントの売上総利益から販売費用及び営業外費用を差し引いたものであります。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ53百万円増加し、24,950百万円となりました。これは、現金及び預金が749百万円、売掛金が411百万円、仕掛販売用不動産が4,721百万円それぞれ減少した一方、販売用不動産が3,811百万円、有形固定資産が2,141百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

また、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ229百万円増加し、20,586百万円となりました。これは、買掛金が286百万円、短期借入金が2,532百万円、未払法人税等が603百万円それぞれ減少した一方、1年内返済予定の長期借入金が705百万円、長期借入金が3,103百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ175百万円減少し、4,364百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益76百万円を計上し、配当の実施に伴い利益剰余金が263百万円減少したことなどによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年7月1日付の「2020年12月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」にて公表した数値からの変更はございません。なお、新型コロナウイルス感染症による影響は感染症の再拡大が懸念されるなど先行き不透明な状況であり、今後、連結業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	2,272,537
売掛金	4,512
販売用不動産	10,305,196
仕掛販売用不動産	2,615,970
その他	506,283
貸倒引当金	△900
流動資産合計	15,703,599
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	4,747,461
土地	3,671,731
その他(純額)	156,211
有形固定資産合計	8,575,404
無形固定資産	107,005
投資その他の資産	561,577
固定資産合計	9,243,988
繰延資産	2,626
資産合計	24,950,213

(単位: 千円)

当第3四半期連結会計期間  
(2020年9月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	222,802
短期借入金	3,277,535
1年内返済予定の長期借入金	2,360,325
1年内償還予定の社債	110,000
未払法人税等	24,097
その他	1,646,084
流動負債合計	7,640,845
固定負債	
社債	40,000
長期借入金	12,166,716
資産除去債務	96,190
その他	642,265
固定負債合計	12,945,172
負債合計	20,586,017
純資産の部	
株主資本	
資本金	250,000
資本剰余金	967,457
利益剰余金	3,129,302
株主資本合計	4,346,759
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△34,580
繰延ヘッジ損益	△12,093
為替換算調整勘定	△1,192
その他の包括利益累計額合計	△47,866
新株予約権	65,303
純資産合計	4,364,196
負債純資産合計	24,950,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	8,081,810
売上原価	6,880,468
売上総利益	1,201,342
販売費及び一般管理費	964,999
営業利益	236,343
営業外収益	
受取利息	2,762
受取配当金	5,645
違約金収入	153,133
その他	27,649
営業外収益合計	189,191
営業外費用	
支払利息	195,594
支払手数料	29,794
為替差損	15,779
株式交付費償却	1,594
社債発行費等償却	3,792
その他	23,122
営業外費用合計	269,678
経常利益	155,855
税金等調整前四半期純利益	155,855
法人税、住民税及び事業税	62,720
法人税等調整額	16,468
法人税等合計	79,189
四半期純利益	76,666
親会社株主に帰属する四半期純利益	76,666



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	76,666
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△15,582
繰延ヘッジ損益	△6,962
為替換算調整勘定	441
その他の包括利益合計	△22,104
四半期包括利益	54,561
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	54,561
非支配株主に係る四半期包括利益	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響については、今後の広がり方や収束時期等を正確に予測することは困難な状況にあります。現時点で同感染症による当社グループ事業に与える影響は限定的であることから、当社グループ事業への影響は軽微であると仮定して会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は不確定要素が多く、不動産市況がさらに悪化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	新築不動産 販売部門	再生不動産 販売部門	不動産管理 事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,682,039	1,830,422	510,778	8,023,240	58,570	8,081,810
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	89,537	89,537
計	5,682,039	1,830,422	510,778	8,023,240	148,107	8,171,348
セグメント利益	437,674	7,221	208,857	653,753	113,025	766,779

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リフォーム事業、仲介事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	653,753
「その他」の区分の利益	113,025
セグメント間取引消去	△89,537
全社費用(注)	△521,386
四半期連結損益計算書の経常利益	155,855

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。